

STP-381-IV-US ライトタープ“ペンタ”シールド アイボリー

取扱上の注意

危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- タープの下では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- タープの下での燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設置してください。

注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しによりタープの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を振り、生地には穴を開けてしまう場合があります。
- タープの設置・撤収の際は、風に飛ばされないようポールをしっかりと支え、ペグを確実に打ち込んでください。ポールの転倒による先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ペグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- タープ素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ポトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよく読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

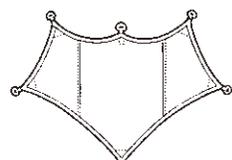
紫外線の影響について

- 本製品にはルーフの生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えと共に、生地の強度劣化を緩和します。
- ※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

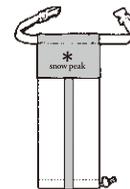
メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、張り綱などの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。

■セット内容 「ペンタ」専用ポール TP-160ライトタープポール150
φ14.5cmアルミポール5本(長さ150cm×1)
本品には、ポールはセットされておりません。



本体…1張



バドルフッキングカバー…1枚



自在付ロープ…3本
(3m×1, 1m×2)



ジュラルミンペグ…6本
(17.5cm×6)



フルケース…1枚



ベグケース…1枚

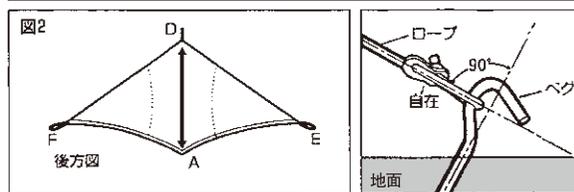
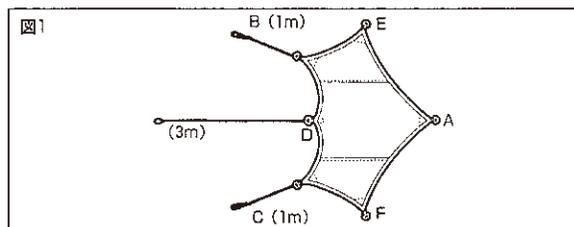
※ご使用になる前に組み立て要領やセット内容を確認して下さい。

■設置手順

一人で設置する場合のセッティング例(図1)

1. 設営場所を決め、本体を広げ張り綱をセットし、Aをベグダウンします。(図1参照)
2. B(もしくはC)を仮にベグダウンし、Dにポール(もしくはそれに変わるもの)をセットし、本体を立ち上げながら、C(もしくはB)を仮にベグダウンします。この時DはAと一直線で結ばれる位置にセットして下さい。(図2参照)
3. BとCを張りジワの少ない方向を探しながらベグダウンし、かるくテンションをB、Cにかけます。
4. EとFを張りジワの少ない方向を探しながらベグダウンします。
5. B、C、E、Fのベグ位置を再度確認し、全体のテンションをかけていきます。

※テンションをかけすぎると、ポール等の破損を招きやすいため十分注意して下さい。



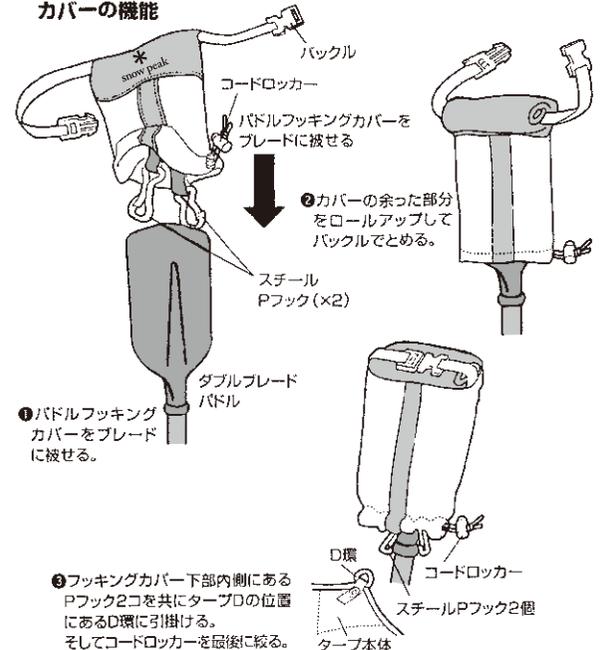
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万が一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命。
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障。
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障。
4. 不測の事故による商品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやさびによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障。
10. 他社製品との組み合わせによる故障

■バドルフッキング カバーの機能



①バドルフッキングカバーをブレードに被せる。

②カバーの余った部分をロールアップしてバックルでとめる。

③フッキングカバー下部内側にあるPフック2コを共にタープDの位置にあるD環に引掛ける。そしてコードロッカーを最後に絞る。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合・往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合・往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- 材質:タープ/75D難燃性ポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工・UVカット加工
- セット内容:タープ本体、自在付ロープ(3m×1, 1m×2)、ベグケース、収納ケース、ジュラルミンペグ(17.5cm×6)、バドルフッキングカバー
- キャリーバッグサイズ:21×37(h)cm
- 重量:980g

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
0120-010-660 (9:00~17:00)
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp